

表紙について 「豊岡うまいもんかるた」

子どもたちに食と農業の大切さを伝えたい、そんな思いから「豊岡うまいもんかるた」は生まれました。但馬地域にはコウノトリ育むお米をはじめ、有機野菜、伝統野菜、果樹、海産物等の特産物が豊富にあり、それらを子どもたちに知ってもらう機会づくりを行っています。46枚のかるたにより様々な農作物を取り上げています。

かるたの読み札で農作物の紹介をして、取り札にはカラフルな農作物のイラストを入れて子ども達に伝えます。子どもたちはかるた遊びを通じて、豊岡の食材を知り、興味を持ってくれています。新型コロナウイルス感染拡大の影響で活動ができない時期もありましたが、一昨年から徐々に動き始め、市内の保育園等に農業委員会の委員が出向き、かるた遊びを体験してもらっています。かるたを始めると子供たちは夢中でかるたをとって「この野菜知ってるよ」「食べたことある、おいしいよ」など楽しい笑顔と話し声をはじめます。かるたは園に寄贈して、園の遊びの一つとして年間を通じて楽しんでいただいています。

農業委員会では、今後も食育活動にも取り組んでいきます。子どもたちの農業への関心が高まることを願います。

(農業委員 石原 章二)



ファーマーズ マーケット たじまんま

豊岡市八社宮490 TEL0796-22-0300
www.ja-tajima.or.jp/tajimanma

定休日：火曜日
(但し、祝日の場合は営業)

JAたじま

編集後記

各地区にて本年度中に「地域計画」の策定をしなければなりません。しかし、加速はしているものの現在順調に進んでいるとは言えない状況です。まずは地域の皆様で将来の姿を話し合ってください。それが第歩だと思えます。区長さんや農会長さんには中心になって頂き、苦労をお掛けしますが、我々委員も精一杯お手伝い致しますのでお気軽に声掛けをお願いします。

さて、農業は今大変な逆風の中にいると思います。資材等の高騰、異常気象による生産物の品質・収量低下と価格下落が続いています。そんな中でも今回、本誌でご紹介した方々を始め多くの生産者は踏ん張っています。

明るい未来を信じて知恵を出し合い、何とか踏ん張っていききたいものです。

最後になりましたが本誌の発行にあたりご協力頂いた皆様へ感謝を申し上げます。

(編集委員長 石原 章二)

 石原委員	 村田会長	 宮岡委員
 仲川委員	 川崎委員	 大谷委員
 中嶋委員	 米本委員	 上倉委員

農委だより第58号は私たちが担当しました。農業者の皆様へ情報をお届けします。